



日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之
(やまぐち・かずゆき)

参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院(現在の当院)のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーションにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。



代表取締役社長
こむろ けんいち
小暮 憲一 氏

(株)福島情報処理センター

郡山市桑野3-18-24
TEL.024-923-2116
https://fic.co.jp/



高品質なセキュリティを誇るデータセンター(左)

山口 近年、デジタルビジネス革命が全世界に広まっていて、情報サービス産業を取り巻く環境は大きく変化しています。今回は行政機関や民間を問わず幅広い分野で活躍している福島情報処理センターさんにお邪魔しました。まずは業務内容について小暮憲一社長にお聞きします。

小暮 弊社は郡山市に本社を置くITソリューション企業です。1965年創業以来、地域情報サービス業界のパイオニアとして、福島県内を中心に自治体や民間企業、さらに医療介護機関など様々な業種に対応した情報処理サービスを提供しています。
山口 お客様と接する上で大切にしていることは。
小暮 経営ビジョンの一つに『お客様満足度の向上』があります。お客様の要望に応えるのは当たり前ですが、お客様の要望の一步先を行く提案を心掛けています。来年度からの次期中計では『デジタル』

自治体情報システムの標準化やクラウド化の対応に注力 IT人材不足「2025年の崖問題」への対応が重要

化が進展する中で、ITCビジネス、IoT分野のプロ集団としてお客様の顕在ニーズ+潜在ニーズを捉えて、新しい価値を届け続ける』を重要な経営方針に掲げています。
山口 特に力を入れている商品やサービスはありますか。
小暮 地方自治体のシステム効率化や市民サービス向上のため、総務省などが中心となり自治体情報システムの標準化やクラウド化が進められ、その対応に注力しています。民間ではレガシーシステムの刷新(2025年の崖問題)の対応が重要になってきます。
山口 データセンターは自然災害にも強いそうですね。
小暮 鉄骨造(CFT柱)免震構造の地上5階建て、電力引き込み2系統、発電機、UPS(無停電電源装置)の設置、更にはセキュリティ対策を行い、高レベルの安全性・信頼性を求められる「Tier

3」の基準を満たしています。外気冷却対応空調やLED照明、太陽光発電を採用し環境にも配慮しています。
山口 人材確保や社員教育について教えてください。
小暮 県内大学やハローワーク、就活サイトで開催される企業合同説明会に積極的に参加しています。インターンシップではAI・ロボット・VRなどIT最新技術を学生に体験してもらい、まずはIT分野へ興味を持っていただ



お客様満足度の向上を目指す小暮社長と山口さん

返しを考えながら、さらに企業として成長したい。現主要商品やサービスは維持しながら、お客様のオーダーに対応できる商品開発力や自社ブランドの確立を目指します。
山口 創業当時から培ってきた高い信頼性と実績には感心させられました。これからもさらなる「お客様満足度の向上」を目指して頑張ってください。応援しています！

るような取り組みを行っています。社員の技術や意識向上を図るために毎年多くの研修を計画・実施しています。
山口 働き方改革や健康経営については進んでいますか。
小暮 社員同士の交流を図ることを目的に、うねめまつりへの参加をはじめ、芋煮会やボウリング、同好会活動などを活発に行っています。永年勤続者へのリフレッシュ休暇や誕生日休暇など、休暇制度も充実しています。働き方改革については各年齢層によって働き方に対する意識の違いがある中で、各年齢層に応じた多様な働き方を実現するための取り組みを強化していかねればと思っています。
山口 今後の夢やビジョンなどを聞かせてください。
小暮 これからも地域との関わりを大事にし、地域への恩返しを考えながら、さらに企業として成長したい。現主要商品やサービスは維持しながら、お客様のオーダーに対応できる商品開発力や自社ブランドの確立を目指します。

るような取り組みを行っています。社員の技術や意識向上を図るために毎年多くの研修を計画・実施しています。
山口 働き方改革や健康経営については進んでいますか。
小暮 社員同士の交流を図ることを目的に、うねめまつりへの参加をはじめ、芋煮会やボウリング、同好会活動などを活発に行っています。永年勤続者へのリフレッシュ休暇や誕生日休暇など、休暇制度も充実しています。働き方改革については各年齢層によって働き方に対する意識の違いがある中で、各年齢層に応じた多様な働き方を実現するための取り組みを強化していかねればと思っています。
山口 今後の夢やビジョンなどを聞かせてください。
小暮 これからも地域との関わりを大事にし、地域への恩返しを考えながら、さらに企業として成長したい。現主要商品やサービスは維持しながら、お客様のオーダーに対応できる商品開発力や自社ブランドの確立を目指します。